

安倍・自公政権の

憲法違反の「戦争法案」

強行採決を許しません

衆院

日本共産党



安倍・自公政権が「戦争法案」を強行採決した衆院安保特別委員会

力を合わせて廃案必ず

国会論戦を通じて違憲性が浮き彫りになり、国民の過半数が反対する「戦争法案」――。安倍・自公政権は、国民の意思を無視して、衆議院の安保特別委員会（15日）と本会議（16日）で採決を強行しました。主権者・国民の意思を無視した強行採決を許すわけにはいきません。

本会議で討論に立った日本共産党の志位和夫委員長

本会議で討論に立った日は「立憲主義を無視した政治の行きつく先は独裁政治だ。日本国憲法の恒久平和民主主義、国民主権をことごとく蹂躪する専制政治は絶対に認められない」と自公の蛮行を批判しました。

動画をご覧ください

「戦争法案」の強行採決と抗議集会をはじめとする国民、日本共産党のたたかいを動画にまとめられています。ぜひご覧ください。



ビデオ通信No.30



ビデオ通信No.31

世論に追い詰められた暴挙 たたかいを広げに広げよう

安倍・自公政権の強行採決は、国民世論に追い詰められた結果です。たたかいはまだまだこれから。国民のたたかいを広げに広げ、世論を高めて、その力で安倍政権を羽交い絞めにして、必ず廃案に追い込むために力を合わせて頑張らしましょう。

衆院議員

大平喜信

